※令和４年度以降入学生用

学校番号	1206

令和５年度　理科

教科	理科	科目	地学基礎	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	地学基礎　（実教出版）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

理科の学習においては、知識の量ではなく、興味や関心、身のまわりの現象を「不思議だな」と思う気持ちがまず重要です。私たちが当たり前のように享受している大自然の恩恵は、様々な条件や偶然によって支えられているものです。地学基礎では、私たちが生きていく上で欠かせない「地球」についての理解を深めていきます。皆さんが有意義な時間を過ごせるように、授業担当者の指示や注意事項をよく守り、主体的に授業に参加してくれることを期待します。

２　学習の到達目標

【知識及び技能】地学の基本的な概念や原理・法則の理解を深める。

【思考，判断，表現】地学の様々な現象についての観察，実験や課題研究などを行い，考えをまとめそれを表現する力を高める。

【学びに向かう力，人間性等】地学の様々な現象について興味を持ち、それを深く探究しようとしている。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	宇宙や宇宙現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身につけている。	宇宙や自然現象の中に問題を見いだし、探究する課程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを適切に表現している。	日常生活や社会との関連を図りながら宇宙や自然現象の関係に関心をもち、意欲的に探究しようとするとともに、地球にまつわる諸現象の共通性と多様性を常に意識するなど、科学的な見方や考え方を身につけている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	地球	地球の構成と運動や大気と海洋について、中学校で学習した内容を基礎として、日常生活や社会との関連を図りながら地球や地球を取り巻く環境への関心を高め、観察、実験、実習なども通して、地学的に探求する能力と態度を育てるとともに、地学の基本的な概念や原理･法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養います。	a:地球の構成や大気と海洋について基本的な理論・概念を身につけている。 b:地球の構成や大気と海洋について、科学的な思考をし、適切に表現している。 c:地球の構成や大気と海洋に関心をもっている。	定期考査 確認テスト	定期考査 提出ノート	提出ノート 授業での積極性
2学期	宇宙	宇宙の姿や宇宙の中の地球について、中学校で学習した内容を基礎として、日常生活や社会との関連を図りながら地球や地球を取り巻く環境への関心を高め、観察、実験、実習なども通して、地学的に探求する能力と態度を育てるとともに、地学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養います。	a:宇宙における地球について基本的な理論・概念を身につけている。 b:宇宙における地球について、科学的な思考をし、適切に表現している。 c:宇宙における地球に関心をもっている。	定期考査 確認テスト	定期考査 提出ノート	提出ノート 授業での積極性
3学期	防災と環境問題	防災と環境問題について、中学校で学習した内容を基礎として、日常生活や社会との関連を図りながら地球や地球を取り巻く環境への関心を高め、観察、実験、実習なども通して、地学的に探求する能力と態度を育てるとともに、地学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養います	a:防災と環境問題について基本的な理論・概念を身につけている。 b:防災と環境問題について、科学的な思考をし、適切に表現している。 c:防災と環境問題に関心をもっている。	定期考査 確認テスト	定期考査 提出ノート	提出ノート 授業での積極性

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※令和４年度以降入学生用